

2018年3月23日

記者各位

MBS テレビ「映像 '17」が 坂田記念ジャーナリズム賞 特別賞を受賞

公益財団法人坂田記念ジャーナリズム振興財団が選定する「坂田記念ジャーナリズム賞」にてMBSテレビ「映像'17 私は殺していない ～呼吸器外し事件の真相～」が、第一部門放送の部（スクープ・企画）の特別賞を受賞しました。

坂田記念ジャーナリズム賞は「映像'13 隠された事故～焼身自殺の真相を追う」、「映像'14 『伝える』シリーズ」、「映像'15 白い炎～放火殺人20年の真実～」、「映像'16 がんとお金～夢の治療薬の光と影～」に続き、5年連続の受賞となります。

◇受賞作品紹介

「映像'17 私は殺していない ～呼吸器外し事件の真相～」

プロデューサー：奥田 雅治

ディレクター：津村 健夫

放送日：2017年11月26日（日）24時50分～25時50分放送

◇番組内容：

2017年8月24日、和歌山刑務所から一人の女性が出所した。西山美香さん、37歳。看護助手だった2003年に入院中の男性患者の人工呼吸器を外し、死亡させたとして逮捕され、殺人罪で懲役12年の判決が確定、満期出所となったのだ。取り囲む報道陣に西山さんは「私は殺していません。無実です。再審が認められるまで頑張ります」と宣言した。西山さんは、刑事の取り調べに対し「自分が人工呼吸器のチューブを抜いた」と自白しているが、弁護団は「自白が捜査と辻褄が合うようになっている。誘導があったとしか思えない」と、冤罪を感じたという。無実の罪で起訴され、裁判で有罪とされてしまう、冤罪。なぜ、冤罪が起これ続けるのか、間違った判決がくだされてしまうのか。番組では、事件を丁寧に検証し、自白に至る過程や、西山さんのこれまでの思いに迫るとともに、事件の真相を追う。

◇受賞理由（抜粋）

この事件が冤罪である可能性が極めて濃厚なことを丹念な調査報告で明らかにしている。殺人罪で服役した西山さんがなぜウソの自白をしたのかという疑問も、その生い立ちなどの説明で氷解する。番組は社会正義としてだけでなく、緻密な取材、インタビュー、再現CGなどで注意深く構成された「人間ドラマ」でもあり、地域ジャーナリズムの鏡ともいえるドキュメンタリーとして、評価できる。同時に冤罪が引き起こされる可能性に、新たな視点を提供している。

以上